



第 37 回日本自然災害学会学術講演会に参加しました(2018/10/6-10/7)

場所：仙台市中小企業活性化センター（宮城県仙台市青葉区）

URL：https://www.jsnds.org/annual_conference/

参加者：佐藤翔輔准教授，門廻助教，保田（プロジェクト講師），馬場（M2），新家（M1）

10月6日(土)～7日(日)の2日間、仙台市中小企業活性化センター(宮城県仙台市青葉区)で、第37回日本自然災害学会学術講演会が開催されました。同学会は自然災害科学の研究の向上と発展につとめるとともに、防災・減災に資することを目的として年に1回、学術講演会を開催しています。当研究室からは計5名が参加し、査読付きセッション、一般セッション、西日本豪雨セッションにて研究発表を行いました。査読付き論文セッションは、同学会査読論文誌「自然災害科学」と同様の審査過程を経て受理された論文について発表されるセッションであり、特別号として査読付き論文が発行される対象の発表になります。各発表者の講演題目等は下記の通りです。今回は災害に関する様々な発表を聞くことができたため、勉強したことを今後の研究活動に活かしていきたいと思えます。

【査読付きセッション】

著者	タイトル
佐藤 翔輔・今村 文彦	石巻市における震災伝承・震災遺構に関する3つの検討会議の事例分析:会議手法に対する有効性の検証と配慮すべき点

【一般セッション】

著者	タイトル
今村文彦，泉貴子ら	市民向け「仙台防災枠組講座」の実施状況と今後の課題 ～大学と自治体の連携による新しい取組～
門廻充侍，今村文彦	東日本大震災を踏まえた津波死の体系化の試み
保田真理，邑本俊亮	三重県鳥羽市における減災意識啓発活動報告
馬場亮太，佐藤翔輔，今村文彦	来訪者を対象とした津波避難誘導に関する実験的研究
新家 杏奈・佐藤 翔輔・今村文彦	リアス式海岸を有する2市間での東日本大震災の津波避難行動に関する比較分析 - 岩手県陸前高田市・宮城県気仙沼市を対象にして -
八木秀文，今村文彦，後藤和久，佐藤翔輔，安倍祥	MOOCによる防災教育の実践 ～「東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学へのアプローチ - 災害科学の役割」を事例に～
久利美和，サッパシー・アノウット	火山ハザード情報に関する観光地に住む住民の意識調査
小野寺洋友，上長根伸哉，佐藤翔輔	気仙沼市立階上中学校における防災学習発表会の試みと考察
柳谷理紗，鈴木由美，佐藤翔輔ら	被災自治体職員による災害対応の継承に関するオフサイト活動の試み:Team Sendai(チームセンダイ)
三浦峻，佐藤翔輔ら	中学生が行う津波避難行動に関する実態調査:2016年11月22日福島県沖地震における気仙沼市階上地区の事例

【西日本豪雨特別セッション】

著者	タイトル
佐藤 翔輔	西日本豪雨における「#救助」ツイートやウェブ報道の動向

※ 著者名は、筆頭者と研究室メンバー（下線）のみ記載



会場の様子



佐藤翔輔准教授の研究発表



門廻助教の研究発表



保田プロジェクト講師



馬場 (M2) の研究発表



新家 (M1) の研究発表

(文責：新家)